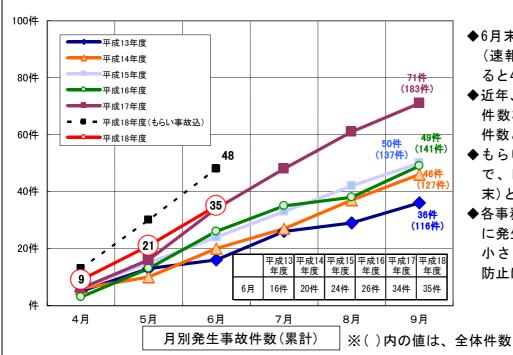
あんぜん

第 1 5 1 号 平成18年7月

近畿地方整備局発行:企画部 技術調査課

平成18年度 直轄請負工事等事故の発生状況



- ◆6月末現在、事故発生件数は35件 (速報値)で、もらい事故を併せ ると48件です。
- ◆近年、最も多かった昨年度の発生 件数34件に対して、ほぼ同発生 件数となっています。
- ◆もらい事故は、6月末現在で13件 で、昨年度の発生件数13件(6月 末)と同発生件数となっています。
- ◆各事務所におかれましては、過去 に発生した事故の教訓を生かし、 小さなミスも疎かにせず、事故 防止に努めて下さい。

今年度も建設機械による占用物件を損傷させる事故が多い!

- ◆過去5年間の事故分類別(図-1)で見ると、"建設機械等"が 関係した事故が、件数・率とも に増加傾向にあり、昨年度は、 全体の約7割の結果となってい ます。
- ◆今年度(四半期)においても、" 建設機械等"が関係した事故が、 全体の6割占めています。
- ◆"建設機械等"の事故内容については、下記の通りです。
- ◇バックホウ運転手の独自判断、 作業指示の不徹底・不注意等、 水道管や情報管路等の地下埋設 物件を損傷させた"バックホウ" に関係する事故。
- ◇除草作業の草刈機が小石を跳ね 飛ばし、一般車等に損害を与え た"草刈機"に関係する事故。
- ◇ユニック車等のアウトリガー張り出しが不十分等の安全性を欠いた作業状況、ブームを下げ忘れ一般道をそのまま走行して架 ✓



図-1事故分類別

空物件を切断や損傷を与える等"クレーン"に関係する事故。

- ◆今年度も現在(四半期)までの発生状況からして、同様の結果が 予想されます。
- ◆1件でも事故を減らすために、今一度、各事務所におかれましては、裏面に事故防止対策(案)を紹介しますので、各請負業者への注意・指導を徹底し、工事現場における安全管理を徹底した上で、無事故に努めて下さい。

(裏面につづく)

建設機械等の事故防止に努めよう!!

[バックホウ等による事故防止対策(案)]

- ◆地下埋設占用物件については、台帳等に記された内容と実際の埋設状況が異なる事が多いため、より多くの関係資料 を調べると共に、埋設物の管理者との立会、試掘や地中探 査器による事前調査が必要です。
- ①地下埋設物の事前調査及び確認は、埋設物の管理者と正確かつ、確実に実施する。
- ②埋設物の管理者と立会調書打合せ簿を必ず交わす。
- ③埋設物の種別、位置、土被り、使用状況等を把握出来るようにしておき、現地で標示板等により危険個所を明確にする。
- ④埋設物の管理者等が保管する台帳に基づいて、手掘等による試掘を正確に行い、埋設位置の把握を行う。
- ⑤地中探査機を使用するにあたり、台帳等と照らしながら現 地で再確認する。
- ⑥管理者の不明な埋設物を発見時には、再度、埋設物に関す る調査を行い、当該管理者へ作業による支障の有無を確認 する。

[クレーン等による事故防止対策(案)]

- ◆クレーン等を設置箇所の周辺状況については、事前調査不 足や周知不足、架空線等への防護措置に不備などが多いた め、もう一度、安全対策を見直す必要があります。
- ①架空線の事前調査は、正確かつ、確実に実施する。
- ②建設機械可動部の一部が、送配電線等に接近する恐れのある場合は、必ず電力会社等、関係機関に事前立会を依頼し、 防護方法の指導等を受けて防護措置又は表示を行う。
- ③作業場所に近接する送配電線の電圧、位置、高さ等、周囲 の状況を周知徹底する。
- ④作業中は現場状況を把握した責任者、上空監視員、合図者等を配置し、常に周辺及び上空等への安全を確保するよう努める。

[草刈機による事故防止対策(案)]

- ◆維持作業や業務等において、ハンドガイド式 草刈機や肩掛け式草刈機を使用しての除草作 業が多くなるため、もう一度、使用方法や周 辺への安全対策を見直す必要があります
- ①事前に現地調査を実施し、既設構造(敷設)物の位置を確認し、作業上で支障となる物件の撤去や位置の表示を実施する。
- ②作業箇所の移動も考慮に入れて、作業箇所の 区分割を計画しておく。
- ③飛石は前方へ向かうなど、自走式(ハンドガイド式)草刈機の特性を考慮して作業手順を定め、 作業員に遵守させる。





各事務所に事故防止のためのパンフレットを送付していますので、特に該当工種のある工事等は、是非目を通して頂き、一層の安全対策の徹底を図るようにお願いします。

- (④作業箇所周辺の駐車車両は、事前に作業時間) 中は移動してもらうように依頼する。
- ⑤草刈機の飛石防止設備を適切に使用し、状況 に応じて、ベニア板、飛散防止用ネット等を 効果的に使用する。
- ⑥作業責任者や監視員等を配置して、作業全体 の指揮・監視を行う。